

色の特性を知って活用してみよう! ~白色編~

コミュパレでは「自分たちの想いが伝わる・届けられるデザイン」の作成方法や、印刷物作りのヒントになる情報を発信していきます。Vol.8では自然や地味、素朴なイメージのある茶色を取り上げましたが、Vol.9では「白色」が持つ色彩効果についてご紹介していきます。

白

色がもつイメージ

人に与える
心理効果とは?

**明るい・軽い・冬・平和・祝福・勝利・無限・
神聖・潔癖・清純・純粋・天国・無・冷たい・
薄情・冷淡・空虚・放心・味気ない など**

白色は、黒色や灰色と同様に色みを持たない『無彩色』です。光のように高い明度と彩度で、軽量感・解放感を感じさせます。白色は、何にも染まっていない色として信頼・清潔といったクリーンなイメージを与え、また他の色に比べてネガティブイメージを持つ人が少ない色でもあります。どんな色と組み合わせても違和感なく調和する上、清潔感を与える色なのでファッションに取り入れられやすいです。デザインにおいては、暗い色と組み合わせるとコントラストを高めると注目されやすく効果的です。日本では、古来より『穢れなき神聖な色』とされ装束や白無垢に採用されてきました。

相性の良い色の組み合わせ

白色と組み合わせるとデザインが引き立つ!? オススメ色!

モノトーン同士は相性抜群!
特に明度が正反対の黒色は
コントラストが高くなり◎

日本の国旗の色。
私たちに親しみのある
配色ですね!

扱いが難しい
彩度が高い色も
引き立ててくれます。

薄い色でも
違和感なく調和します。

白色を使ったデザインの例

似ている色同士を隣合せに配置すると曖昧な印象になってしまったり、反対に補色同士を配置すると境界がガラガラして(=ハレーション)見づらくなってしまうことがあります。そんな時は、セパレーションカラーを活用すると良いです。

セパレーションは『分離』という意味で、弱い配色にメリハリをつけたり、強すぎる対比を和らげたりする効果があります。セパレーションカラーはあくまで脇役のため、今回取り上げた白色や黒色・灰色の無彩色を使用することがほとんどです。



補色関係の青色とオレンジ色がハレーションを起こしていますが、セパレーションカラーを挟むことによりガラツギが和らぎます。



目立たせたい文字が背景と同系色になっているため少し見づらくなっていますが、白色のセパレーションを入れることで背景色との差別化を叶えています。

お客様が作成された印刷物のご紹介

デザイン作成のヒントが見つかるかも!? ジムブレーションのお客様が実際に作成された印刷物を例に挙げ、「どんな部分にこだわっているのか」「想いを伝えるためにされている工夫」等を皆様にご紹介していきます。

岐阜南民主商工会 様 A4サイズ/両面カラー印刷

お客様のこだわり Point 01

イラストで季節感(クリスマス)を演出されています。

どんな印刷物?

商工会の会員の方や、地域の方に配布しているイベントの告知チラシです。このチラシは約5,000枚印刷されたそうです。

お客様のこだわり Point 02

QRコードを読み取ると開催場所の地図が出るようにして、参加者がアクセスしやすいように工夫されています。

お客様のこだわり Point 03

目立たせたい箇所の文字サイズや書体・色を変えていらっしゃいます。

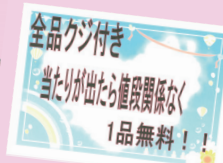
お客様のこだわり Point 04

前回の写真を入れたり、次回の出品予定品の写真を入れて、チラシを見た方がイメージしやすくなるようにされています。

次回出品予定品



〔あられや乾物等、ありますよ!!〕



〔中にはこんな出店者も!? 次回、出店確定!〕



〔おしゃれな棚〕



〔かばん類〕

今までのフリマの様子(^_^)



※他にも様々な物ありますよ!! 来てからの楽しみですよ!!

読み手に配慮した デザインとは...

- ・日時や場所等の重要な情報が
すぐに目に留まる
- ・写真やイラストを使って状況を
イメージしやすくする

